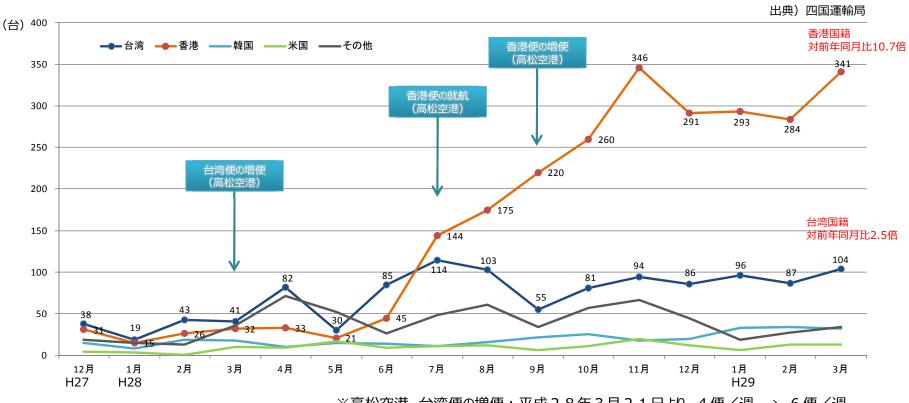
(4)その他の話題提供について

#### 四国における訪日外国人のレンタカー状況

- ○四国内のレンタカー利用は台湾便の増便及び香港便就航に伴い大幅に増加。
- ○四国では、訪日外国人のレンタカー利用者の増加に伴い、観光施設・休憩施設(道の駅等)のインバウンド受入体制 の整備(案内板等の英語表記、情報発信の多言語化等)が課題。
- ○今後、訪日外国人の国籍や訪問観光地先を把握し、重点的に対応すべき地域を把握。
- ◆ 四国における訪日外国人のレンタカー利用状況の推移(主要レンタカー会社における主要営業所での集計)



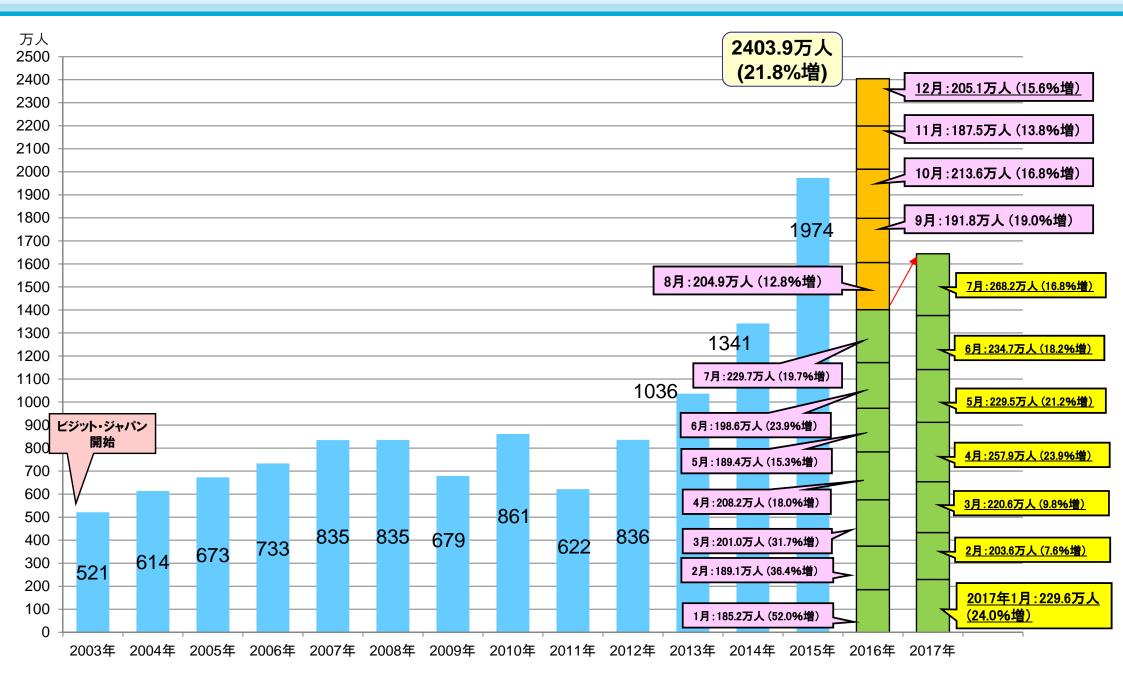
- ※高松空港 台湾便の増便:平成28年3月21日より 4便/週 → 6便/週
- ※高松空港 香港便の就航:平成28年7月 6日より 3便/週
- ※高松空港 香港便の増便:平成28年9月 4日より 3便/週 → 4便/週
- ※主要レンタカー会社16社の交通結節点等に所在する営業所にて調査を行ったものであり、四国全体のレンタカー利用状況を調査したものではない。

# 四国における観光の状況

国土交通省 四国運輸局平成29年11月

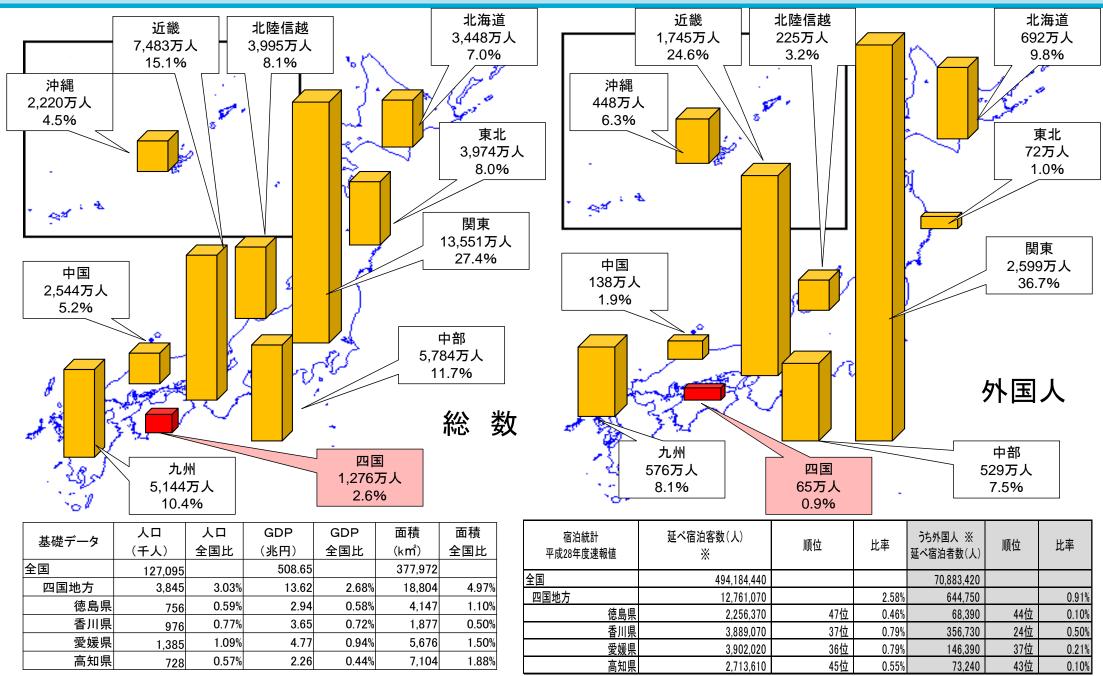


### 訪日外国人旅行者数の推移



## ブロック別延べ宿泊者数(2016年)





人口・・・総務省統計局人口推計(平成27年10月1日(確定値))

GDP···内閣府の統計データの統計表(平成25年度県民経済計算)県内総生産(名目)

面積・・・国土地理院 平成28年度全国都道府県市区町村別面積調(平成28年10月1日)

※代業員数10人未満の施設の宿泊客数を含んだ集計表 宿泊旅行統計調査 平成28年速報値

## 明日の日本を支える観光ビジョン(新たな目標値)



#### 安倍内閣3年間の成果

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワーク拡大 など、**大胆な「改革」**を断行。

(2012年) (2015年)

・訪日外国人旅行者数は、2倍増の約2000万人に

836万人 ⇒ 1974万人

・訪日外国人旅行消費額は、3倍増の約3.5兆円に

1 兆846億円 ⇒ 3 兆4771億円

#### 新たな目標への挑戦!

訪日外国人旅行者数

2020年: 4,000万人

2030年: 6,000万人

(2015年の約3倍)

訪日外国人旅行消費額

2020年: 8兆円

2030年: **15兆円** 

(2015年の4倍超)

地方部での外国人延べ宿泊者数

2020年: **7,000万人泊** 

2030年 : **1億3,000万人泊** 

(2015年の5倍超)

外国人リピーター数

2020年: **2,400万人** 

2030年: 3,600万人

(2015年の約2倍)

(2015年の約2倍)

(2015年の2倍超)

(2015年の3倍弱)

(2015年の約3倍)

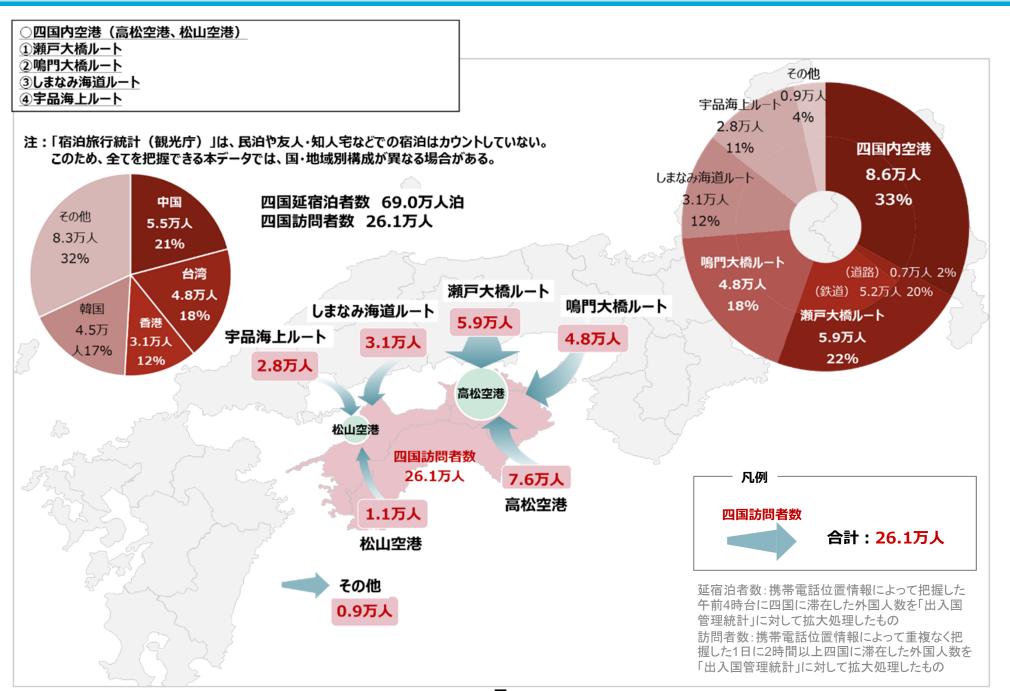
日本人国内旅行消費額

2020年: **21兆円** 6

2030年: 22兆円

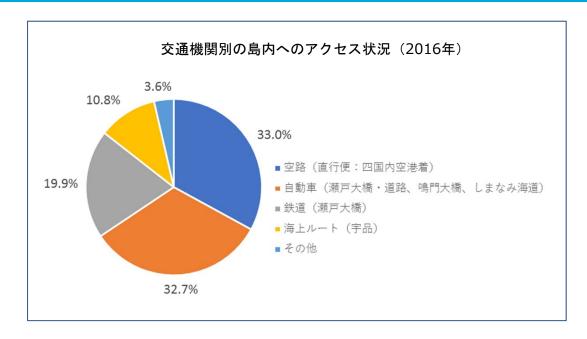
### 訪日外国人旅行者に係るアクセスルート別訪問者数(2016年)





#### 受入環境整備









- ○四国へのアクセスのうち 1 / 3 が自動車を 利用。
- ○高松空港での海外直行便の増便や山陰・ 瀬戸内・四国エクスプレスウェイパスの発売 (本年3月~)等により、四国でのレンタカー 利用が増大。
- ○四国運輸局としても、ドライブマップの作成 (各県等をメンバーにした検討会で協議) 等を通じ、訪日外国人旅行者の受入環境 整備を加速。